

8人が学科表彰 他の生徒の模範に



表彰状を受け取る原田望生さん(建3)

卒業証書を受け取る工業化学科の鹿原挑夢君



第77回卒業証書授与式が本校体育館で行なわれた。今年の卒業生は209人だった。送辞は生徒会長の上口護君(情2)、答辞は前生徒会長の高木風吹君(機3)が述べた。

祝卒業

209人が巣立つ

「社会に役立つ人間に」



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1発行人(局長)
村岡 良祐
(工業化学科2年)

卒業生の声

工業化学科 上出惇弘君

一番の思い出は見学旅行。それまでに道外へ行ったのは海外旅行だけだったので、いつか道外へ旅行をしたいと思っていた。同じ日本でも文化や風習が違うと実感できてとても良い経験になった。

卒業後は北見工業大学に進学する。大学卒業後はすぐに就職する予定。

旭工で学んだ学習内容や礼儀を大学生になってからも忘れずに続けたい。

進学後も資格取得に力を入れる。社会のニーズに合う人材になって会社や社会の役に

支えてくれた人に感謝 優良卒業生に選出 宮西明莉さん(土3)



好きな食べ物はいちご

専門高等学校等御下賜金記念優良卒業生の表彰を受けた。この賞は専門学科を置く高等学校で人物と学業が非常に優れた卒業生に受賞される名誉ある賞だ。

3年間、成績の向上や資格取得、部活動に力を注いだ。計画的に勉強

旭エ ライフ

立てるようにになりたい。

後輩には今の成績に納得できなくても、まだ間に合うので進路を諦めないで勉強に取り組んでほしい。

そして旭工生活を存分に楽しんでほしい。

土木科 山本陽翔君

一番の思い出は見学旅行。新宿駅で乗る予定の電車のホームが分からず、駅内で迷子になったこと。

卒業後は橋本川島コーポレーションに就職する。社会人になるので責任のある行動を心掛けたい。

後輩には毎日楽しく過ごして旭工での思い出をたくさん

久保田 悠友君(建3)

日本建築学会北海道支部賞

原田 望生さん(建3)

東日本高等学校土木教育研究会賞

梶浦 郁人君(土3)

栗林育英学術財団研練褒賞

堂新橋 樹希君(電3)

全国情報技術教育研究会生徒表彰

関 秀晟君(情3)

全国設備工業教育研究会賞

千葉 佑人君(機3)

保護者の声

建築科

建築科に入学したが、ゼロから何かを作るのが苦手だった。しかし進路を決めるときに発想の転換ができていたのが良かった。

独学で商業系の資格に挑戦して合格したのでよく頑張ったと思う。

情報技術科 梶原春希君

一番の思い出は2年生の時の工高祭。コロナによる制限がなくなったので、全力で楽しめた。

卒業後は北海道情報専門学校に進学する。進学後も旭工の校訓である「信頼される人になれ」を意識しながら生活していきたい、プログラムについて学ぶ。

後輩には3年間はあつという間に過ぎるので勉強や部活動を頑張してほしい。遊びなどの自分がしたいことはすぐにやって高校生活を楽しんでほしい。

電気科

入学した頃は家から学校まで少し距離があり、通学に不安があったと思うが、毎日休まずに通学していた姿に成長を感じた。

部活動を頑張っていて、3年間やり遂げて良い仲間を見つけたので良かった。

卒業後は就職で親元を離れるので、思い通りにいかないことが多いと思う。友人や職場の先輩に相談しながら乗り越えていってほしい。

電子機械科

3年間を通して大好きなもののづくりや機械、車に携わっていた。特に頑張っていたものづくりコンテストでは貴重な経験をして賞も取れていたのが、自信へとつながった。

親元を離れても、今までのように多くの人との出会いを大切に、他人に手を差し伸べられる人になってほしい。



工具箱

私は今日、卒業する。3年間はあつという間だった。高校生活の思い出は新聞局のことかほとんどだ▼入学して間もないころ友達の前原照太君(電3)に誘われて入部した。部活動や行事で活躍した生徒や市内の講演会取材して紙面化した。1年生の時は全道大会の当番校を務め、オーブニングで同期のメンバー5人で応援団のエンルを披露した▼毎年、高文連の支部大会や全道大会に参加し他校生とレィアウトや技術的なことを学んだ。新聞局として旭工オリピックの部活対抗リレーで走った▼一番の思い出は2年生の夏休みに北島叶惟君(土3)と参加した鹿兒島での全国大会総文祭だ。全国の部員と交流しながら鹿兒島の地域や歴史について学ぶのは、貴重な経験で楽しかった。どれも良い思い出で、やりがいのある活動だった▼3年生になり私は局長になった。前局長の狩野晴樹先輩のように皆を引っ張っていきたくはなかった。なかなかうまくできなかった。それでも局長として責任感を持って活動したので少しは成長できたと思う▼こんな局長についてきてくれた後輩たちには感謝しかない。皆で仲良く協力して新聞局を盛り上げ旭工生の活躍を伝えてほしい▼旭工生の皆さん、取材に協力してくれてありがとうございました。今後も新聞局をよろしく願います。卒業は寂しいが社会人として頑張っていく。ありがとう旭工と新聞局。(電3佐々木)

夢に挑戦を

工業化学科

鹿原挑夢君



一言でいうと「多様性」。一人ひとりの個性が発揮されているクラスだ。1年生の時から段々と仲間になっていった。思い出は生徒間の雑談で、そのときが一番楽しく、いろいろな人が世の中にいると分かった。旭工に入ってから人脈が広がったので良かった。

卒業後は大学でバスケットボールや、スポーツの指導法とスポーツ科学の勉強を頑張って、ビッグになりたい。

先輩には高校生のうちにいろいろな夢に挑戦してほしい。

人間として成長できた

土木科

倉田温斗君



なんだかんだ最高なクラスだった。クラスの良いところは旭工オリソピックや体育文化大会などの行事でクラスが団結し取り組むところ。困ったところはだらだらしていることが多いところ。委員長として頼りなかったかもしれないが、3年間担任の小森佳代子先生に寄り添ってもらい感謝している。一番の思い出は見学旅行。自分たちで計画を立てて楽しめた。旭工では当たり前のことを最初から学べ、人間として成長できたので良かった。

卒業後は社会人になるので旭工で学んだことを生かす。いろいろな人とコミュニケーションを取り業務を円滑に進める。

先輩にはしっかりと勉強を頑張る、進路を選ぶときに困らないようにしてほしい。

礼儀の大切さ学ぶ

建築科

西條えれなさん



仲間が良く団結力があるクラス。休み時間に皆でゲームをしたり、行事では皆で協力して目標を達成したりするから。

仲が良く団結力があるクラス。休み時間に皆でゲームをしたり、行事では皆で協力して目標を達成したりするから。

卒業後は(株)橋本川島コーポレーションに就職する。

先輩には就職にも進学にも有利になるので、資格取得と勉強を主力で頑張してほしい。

がる長語を委員を思い出すHR

人脈が広がった 自分の考えを表現

電子機械科

清水亮太君



気合の入ったクラス

一言でいうと「漢」。クラス全員が男子で、気合の入った良いクラスだから。入学した当初はクラスの雰囲気は固く、まだお互いのことが分かっていなかった。1年生の時の工高祭で各担当に分かれ、アイデアを出し合っていて話し合ったので良いものになり、クラスの雰囲気が温かくなった。一番の思い出は3年生の時の旭工オリソピック。各競技で皆頑張っていて、競技に出ていない人も全力で応援していて良かった。クラスの良いところは元

一言でいうと「漢」。クラス全員が男子で、気合の入った良いクラスだから。入学した当初はクラスの雰囲気は固く、まだお互いのことが分かっていなかった。1年生の時の工高祭で各担当に分かれ、アイデアを出し合っていて話し合ったので良いものになり、クラスの雰囲気が温かくなった。一番の思い出は3年生の時の旭工オリソピック。各競技で皆頑張っていて、競技に出ていない人も全力で応援していて良かった。クラスの良いところは元

弱点を補った

電気科

飯塚瑞木君



一言でいうと「天才の集団」。皆本気で物事に取り組みばすぐさまとまり、良い結果を収めることができるから。一度も不祥事を起こさず、人それぞれの弱点を補い合いながら生活することができた。旭工に入り、3年間野球に真摯に向き合うことで、精神力や忍耐力、人間性を身に付けた。普通科の学校では習えないさまざまな専門知識を学び、資格取得ができた。

卒業後もこのクラスのように明るく、3年間で学んだ礼儀や作法を生かして精一杯頑張っていく。日々精進を重ね、地に足をつけて自分だけではなく、周りの人も一緒に成長できるような人間になりたい。

先輩にはどんなに悪い成績でも最後まで諦めず卒業を目指して頑張る、物事をやり遂げる力を身に付けてほしい。

やるときはやる

情報技術科

平田敦梓君



やるときはやるクラス。漢字コンクールや定期テストなどで他のクラスよりも高い平均点を取っている。クラスの良いところは雰囲気。気が明るく元気なところで、困ったところはメリハリがないところ。

卒業後は(株)日立製作所に就職する。就職してから何事にも元気に取り組んでいきたい。

旭工はあいさつや返事を磨ける高校なので、先輩には私たちよりあいさつを良い声でできるのを楽しみにしている。